

を開いた。棚倉町以外の町・村からも多数参加した。同
時に農業についての集会なども開いた。また、牛乳の普
及、誘蛾灯での害虫駆除など農村の発展や農業技術の指
導にも力をそそいだ。

明治33年(1900年)

のちに棚倉神農会と開農社が合併する。

「私立東北白毫学院」をつくる。

園部日敬長久寺住職のよびかけにより、寛助さんら5
名が賛成し、鹿子山に男子中等学校をつくった。のち明
治41年に東白川郡立農蚕学校となる。

明治37年(1904年)

還暦の記念に友人と力をあわせ、棚倉町の城跡と赤館
山、それに矢祭町の矢祭山にさくらを植えた。

現在も春には、美しい花をさかせている。

明治41年(1908年)

棚倉郵便電信電話局長の役職を長男寛一さんに譲る。

明治44年(1911年)

「白棚鉄道をつくることを申請」した。

寛助さんら46名が連名で申請する。大正2年(1913年)
には、白棚鉄道をつくる許可があり、その測量や設計が
はじまった。

大正2年2月11日(1913年) 人びとから惜しまれて、69歳でなくなった。

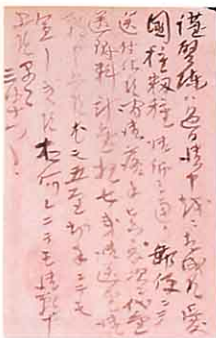
〔役 職 暦〕

けんかのうしやうこう しもんかいいん けんかんぎやうしもんかいいん ぐんかんぎやうい いん けんかんぎやうつうしん い いん けんだいいっかい
県農商工諮問会員・県勸業諮問会員・郡勸業委員・県勸業通信委員・県第一回
かんぎやうしもん い いん ぶとくかいし ぶひやうぎ いん ぎかい ぎいん つと
勸業諮問委員・大日本武徳会支部評議員・棚倉町議会議員など、多くの役を勤
めた。

〔表 彰〕

えきていききやうしやう ありす がわしんのうでん かひやうしやう せいはいち い ずいほうしやうじゆしやう のうかいいい
駅逓局長彰・有栖川親王殿下表彰・県表彰・正八位瑞宝章授賞・大日本農会名
よしやうじやう ろくはくじゆゆうこうしやう こうせき
誉賞状・大日本農会緑白綬有功賞など、功績が認められ数多く表彰をされた。

大正時代当時の郵便局
(現在の高田油店の向かいにあった)



農作物の種などを、
はがきに書いて注文
した。



ろくはくじゆゆうこうしやう
大日本農会緑白綬有功賞